

新たな豊島区景観資源指定の方法(案)について

1. 豊島区景観資源指定の経緯および令和3年度の検討課題について

● 平成30年度

景観まちづくり推進のため、『豊島景観百選(アンケート)』を実施

※ 豊島景観百選・・・個性ある美しい景観まちづくりの推進のため、広報としまや、ホームページ、各種啓発事業の場において、景観資源の掘り起こしを目的として、「ゆとりと潤いのある街並みを創出しているもの」「歴史的・文化的な景観に寄与しているもの」「人々の生活・営みの魅力が感じられるもの」などの『区内で良好だと思ふ景観』と『その理由』を募集した平成30年度実施のアンケート。103件回答があり、重複等により最終的に豊島景観百選として40件を選定。

● 平成31年度

豊島景観資源指定の「祭事、催しその他の行事」を指定出来るという制度の特色を活かし、豊島景観百選より豊島区景観資源を指定

- ・ 雑司が谷鬼子母神の御会式万灯練供養(第1号)
- ・ ふくろ祭り(第2号)

● 令和2年度

今後も景観資源を指定していくにあたり、指定方針を景観審議会等で整理・検討。指定方針に基づき、豊島景観百選より指定候補決定

【指定方針】

- 1: 地区特性に着眼して指定
- 2: 景観構成要素に着眼して指定
- 3: 無形を指定できる豊島区景観資源の特色に着眼して指定

【指定候補】

- ・ 門と蔵のある広場および旧丹羽家腕木門
- ・ 私の庭みんなの庭
- ・ 大塚駅南口駅前広場(トランパル大塚)

● 令和3年度

【現状】

- ・ 池袋駅周辺を始めとした新たなまちづくりが進行中
- ・ 他の法制度等で既に良好な景観形成への寄与が認められている
→ 従来の豊島景観百選を基にした選定方法での豊島区景観資源の指定が難しい状況
- ・ 景観資源指定候補を増やすため新たに豊島景観百選を募集
→ コロナ禍において、意見聴取の場でもある景観啓発事業の実施が困難な状況継続



【新たな指定方法の検討】

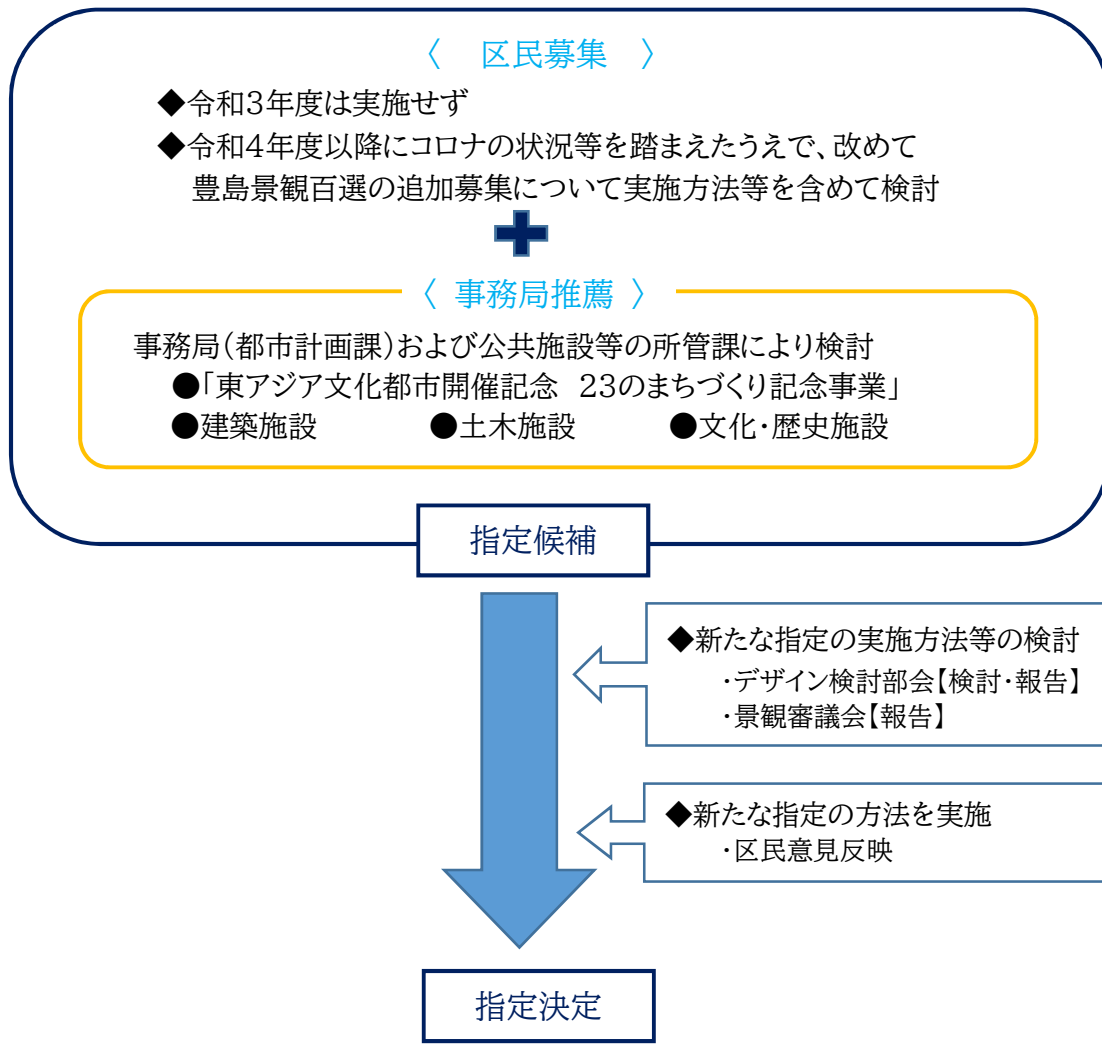
- ・ 従来からの区民募集に加え、事務局や公共施設等の所管課等まちづくり事業を担う区の視点からも検討した指定候補を提示する
- ・ 指定決定までの検討経過において、景観審議会委員や区民の意見聴取等を実施する

2. 新たな豊島区景観資源指定の方法(案)について

【 新たな指定方法(案)】

新たにまちづくり事業を担う区の視点からも指定を検討

→〈区民募集〉および〈事務局推薦〉より **指定候補** 検討



- 令和3年12月14日 豊島区景観審議会
◆『新たな豊島区景観資源指定の方法(案)について』を報告
→審議会報告後、指定候補を検討
- 令和4年2月下旬 豊島区景観審議会デザイン検討部会
◆指定候補の報告
◆新たな指定の実施方法(案)、実施スケジュール(案)について検討
※区民の意見聴取等の方法を検討
- 令和4年3月下旬 豊島区景観審議会
◆デザイン検討部会にて検討した新たな指定の実施方法(案)、
実施スケジュール(案)を報告
→審議会報告後、新たな指定の方法を実施